

平成27年度

## 「環境への取り組みについて」

農業委員会事務局長 福留 克志

### 部の環境方針

流山市が掲げる「環境方針」を念頭におき、地球温暖化防止や循環型社会の構築に配慮するとともに、将来にわたり好ましい環境が引き継げるよう、事務局職員をはじめ各農業委員は環境に配慮した取り組みを今後も行っていきます。

1. 公用車を使用する場合には、走行距離や走行時間短縮を念頭におきながら、効率の良い運行計画を事前に準備し、省エネルギーの推進と排出ガスの削減を図ります。

また、停車時にはアイドリングストップの徹底を図ります。

2. エコオフィス（紙・ごみ・電気）への取り組み、グリーン購入の推進に努めます。

3. クールビズ等の徹底を図ります。

### 各課の環境目標・活動計画

流山市では、平成23年度から各課において環境への取組目標を設定し、全ての職員（臨時・嘱託職員を含む）が課の環境目標を記載した「環境カード」を携帯しています。これは、「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」と「環境マネジメントシステム」を職員一人一人が自覚し、日頃からの意識向上を目的に行っているものです。

課名	環境目標・活動計画
農業委員会事務局	・ 公用車の排出ガス及び電気使用量の削減 ・ コピー及びプリンター使用量の削減

### 環境への取組の評価（平成27年度末に記入）

1. 農地法による許認可等のため、現地調査を行う場合、効率的な経路を念頭に置き走行距離や時間を短縮しました。

2. 事務室内では、昼休みの消灯や離席時のパソコン電源オフを徹底し、節電に努めました。

3. 毎月実施する議案審査会、小委員会、総会では、コピーの使用量削減のため、議案書等のリサイクルを徹底しました。

4. 消耗品の購入に当たっては、グリーン購入法適合商品を優先するよう努めま

した。

5 . 節電やクールビズ・ウォームビズなどの取り組みに当たっては、事務局職員とともに本市農業委員の理解と協力により、農業委員会が一体となって環境に配慮した取り組みを行うことができました。